

## 第23回 まちづくり懇談会の概要について

### 1. 懇談会のテーマ

- ・まちぐるみで子育てを応援しよう
- ・あなたと町、力を合わせてやってみたいことは？

### 2. 日時、会場

令和元年6月29日（土）9時30分～／13時30分～  
町民センター（視聴覚室）

### 3. 参加人数：計 27人

時間	参加者
9時30分～	13人 (男 8人・女 5人)
13時30分～	14人 (男 8人・女 6人)

### 4. 町出席者

木村町長、常盤副町長、中島町民部長、池田協働文化推進課長、  
協働文化推進課協働担当職員

### 5. テーマ別の詳細について

- ①テーマ1…<P.2>
- ②テーマ2…<P.18 上段>
- ③テーマ3…<P.28 下段>

# 1. まちぐるみで子育てを応援しよう

## 9時30分～の懇談会の内容

参加者	町長	懇談後の経過・結果等確認事項
<p>(町民部長) 最初のテーマ、「まちぐるみで子育てを応援しよう」というテーマとなっております。地域で、また個人として、まちぐるみで若いパパやママを応援することが出来ないかということをご一緒に考えたいと思っております。</p> <p>地域と言いましても自治会さん、地域のボランティアさん、個人のボランティアさん、さまざまな活動があると思われるのですが、そういった活動を先ほど具体的にみていただき、地域の中でどんなことが出来るのか、ご意見、ご感想ございましたら、ご発言いただきたいと思います。</p>		
<p>【子育て世代のサポート体制について】<b>公助</b></p> <p>子育てのボランティア活動は少しずつ出来ていると思われていますが、参加者は子はもちろんのこと親も参加されます。ところが、母子家庭や父子家庭など家庭の事情があります。そういうところもサポートしなければならないと思います。他にも低所得者など。そのような方々をどのように巻き込み子育てするかということが課題だと思います。</p>		
<p>それに関しては、子育て支援センターでも感じており、子育てが困難な家庭、親御さんがいても、子育てがうまくいかない家庭へのサポートは大きな課題です。</p> <p>親が子を育てることは難しいことなので、保育園に子どもを入れることが子どものためには良いことだと思います。周囲から見ても子育ての状況が危機的だと思ったとしても定員がいっぱいだという理由で保育園に入れず、子育てを行い、その子どもたちが育っていきけるのかと不安に感じます。</p> <p>父子家庭、母子家庭のお話もありましたが、保育園で安定した生活を送れる体制をつくるのが大事なことです。</p> <p>そして、先ほどの活動内容例の一つにある南部文化福祉会館の方に</p>	<p>(町民部長)</p> <p>現在も保育園に入れなくてお子さんがいらっしゃり、入園出来れば日常が安定するのではということでしょうか。</p>	

<p>お話しを聞いたのですが、公民館に来るのは、おじ様、おば様など中年の方が多く、乳幼児を連れて方はあまり来ないようです。公民館の方は工夫して下さり、フリースペースも設けているのですが、来ないようです。公民館は地域の施設ということなので、地域の子ども、乳幼児の居場所として、どのように活用するかということテーマであると思います。</p>		
<p><b>【公民館について】</b> <b>公助</b></p> <p>食事の面もです。公民館も暗いと言われていています。電気の節減なのか、廊下から暗く、乳幼児さんには厳しいと話していました。公民館のフリースペースが活用されるような工夫を、地域の方が一緒に対応してなど、公民館の人とコラボして出来るようになるとういなと思います。</p>		<p><b>【教育総務課 社会教育担当】</b></p> <p>公民館のロビーで利用者がいない時間帯に節電のため、一部消灯している状況がありましたので、立ち寄りやすい雰囲気づくりのためにも、照明をつけておくよう指導しました。</p> <p>また、未就学児の親子のためのフリースペースを南部公民館は毎日午前中、北部公民館は平日午前中に開放しています。地域の親子の方に利用いただけるよう、周知活動に努めます。</p>
<p><b>【公園の遊具について】</b> <b>公助</b></p> <p>ボランティア活動を盛んに行うことも課題だと思いますが、そのほかに、子育て中のお母さん方から聞いた話なのですが、行政の考え方や、私どもの考える子育てのあり方に少しずれがあると言っていました。</p> <p>具体的な問題として起こったこととして、子育てに重要な時期に行う公園、そこにある遊具、今回はブランコでしたが、越の山地区にある公園のブランコの座るところが折れる寸前の状態で発見され、行政に修復を自治会として4月頃に依頼しました。それに対し、修理予算がないため修理には時間を要するという回答がありました。毎日公園で</p>	<p>施設の問題、遊具も含め、あるいは公民館、コミュニティー施設は幅広い世代に利用してもらえます。高齢の方が多く、また利用しやすい関係もあると思われますが、最初に言われたように暗く、入りづらい、利用しにくい環境は改善する必要があります。節電のために消灯することはありますが、不必要に消すこともありません。多くの方に利用してもらうための施設として開館していますので、この件は担当に伝えておきます。</p> <p>また、遊具について、予算がないというお話がございました。私は予算がないということは説明の中には出さないよう言っています。予算がないのであれば、補正等をして予</p>	

<p>遊んでいる、子育て中のお母さん方が嘆いています。子育てに使用するものは優先的にしてほしいです。</p> <p>行政さんは子育てに対してこのように考えている、支援を行っている、ボランティアとは別な範疇で、それを覆すような対応の仕方、気持ちを表すことがあってはならないと思います。それが魅力あるまちづくりに直結し、子育ての根本と思います。そういうことが、これからは特に必要だと思いました。</p>	<p>算を確保する手段を講じるべきです。当初に予算を組まなかったため、次年度へという話ではありません。特に子どもたちが使うような施設、遊具については安全確保が第一です。ですので、緊急的に、危険だと判断した場合は、利用制限をする場合もありますが、それはすぐに回復するための措置であり、先延ばししてよいものではありません。遊具に限らず、町が管理している施設は十分に注意し、善処したいと思います。</p>	
<p>町長の手紙の要綱があるので、それを利用されると良いと思います。</p>		
<p>町長の手紙も何回か利用させていただいており、回答もいただいています。ただ、何でもかんでも町長に手紙を出せばいいとは、行政も団体であり、団体のそれぞれの役目があるので、まずは役目を持っているところにアピールすることが筋だとも思います。私が言いたいこととしては、町民と行政の考え方を一致させてなければならないということです。</p>		
<p>私の家の近くの公園に孫を連れて行ったとき、ブランコを利用するにつれ、足元の土が削れ、砂埃が起る、水たまりになるなど使用しにくいと感じました。そこで行政に相談すると、すぐに黒いシートを下に敷いてくれ、そうすることで水もたまず、地面も削れない、落ちてもし危なくないと、対処してくれました。先ほどのお話は何とも言えませんが、ブランコの下にそれを敷いてもらったのでそれは孫と共に助かります。</p> <p>また、南部公民館の遊具の遊びの部屋にも、孫を連れて初めて行ったのですが、こんな部屋があること知りませんでした。指定管理制度にな</p>	<p>今おっしゃられた通り、町の広報全てで情報を網羅してお伝えできるか、また、皆さんが広報を隅から隅までお読みいただけるかというのは難しいものです。読みやすくなるよう工夫はしていますが、全世帯、あるいは全事業所に配っている広報を見ていただけないというのが一番大変な部分だと思います。今回、7月号から広報をリニューアルしました。紙面の見やすい部分は評価していただきにくいですが、見にくい、または改善点をご意見いただくようなスペースを取っているのですが、その点は担当に話をしていきたいと思います。</p> <p>また、情報の伝達について、行政</p>	

<p>り、公民館が明るく、掲示物やおもちやもありました。広報を読んでいるつもりですが、このような保育スペースが南部文化福祉会館に出来たことを知らなかったです。</p> <p>今の時代、情報の発信が多種多様あり、町も広報など様々な方法でやって下さっています。しかし、皆さんあまり読まれない。</p>	<p>の役割は、いかに情報を満遍なく伝えるかということが基本です。災害時も平常時であってもです。防災行政無線ですので、防災に特化はしていますが、全町的にお知らせする場合は放送を使います。しかし、現在、建物の建築状況も大きく変わった部分もあり、聞きづらい地域がありますので、そのあたりの調査を現在行っております。数を増やせばいいというと、放送塔やアンテナがある、とくにマイクのあるところは非常にうるさいというようなお叱りをいただいてしまうので、その難しさがあります。ですから、放送が流れているという場合、寒川メール配信サービスなどで情報は確認出来ます。また、町のホームページへアクセスいただきますと各課の情報が知ることが出来ますので、各課には情報をより具体的な内容となるよう、担当には話をしていきたいと思えます。</p>	
<p><b>【情報周知について】</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">公助</span></p> <p>放送も聞かないです。先日のまちぐるみ美化運動も30軒中5人ほどしか参加されない。放送が聞けなかったと言っていました。本来、まちぐるみは全員が参加し賑やかに隣近所の方とお話しながらしたいと思うのですが、夕方の放送を聞けなかったと参加されなかった方は言っていました。朝も流さないの、それが少し寂しいと思えます。</p> <p>私の場合は幼稚園ですので、なるべく朝早く出て、おはようという声をかけようと思っています。お父さんやお母さんが眠たい顔をして、子ども連れて幼稚園に来るので、私も声をかけているのですが、世知辛い世の中、せめて笑顔だけでもと、明るく1日を過ごして欲しいと、いつ</p>	<p>やはり対象となる人に確実に情報発信していくという点は非常に難しいとは思いますが、今日の懇談会については、基本、全職員が文字になったものを見ますので、確実に担当に皆様のご発言をお伝えしますので、改善出来るものは改善していきたいと思えますので、今後お願い致します。</p>	

<p>も子どもを見ながら思います。</p>		
<p>情報不足と行政さんは言っていました。情報不足ではないと思います。情報は小まめに、紙面が足りなければ小さくしてでも情報を載せている印象があります。見なければ話になりません。では、どのようにすれば見るのか。見ない理由があると思います。自治会の回覧やシニアクラブ関係等で情報が配られますし、例えば茶話会が定期的に行われますが、その場で世間話の中から情報を得る機会というのは多々あります。そのように自身で情報を吸収しようとすれば出来ます。情報を持っている自治会やシニアクラブ、同好会、その他の団体に目を向けていただくと良いのかと感じています。</p>		
<p>【自治会での子ども支援の取り組みについて】<b>共助</b></p> <p>私は一之宮ソフィア自治会長をやらせていただいています。子ども支援という点でお話させていただきますと、昔と違い子どもの人数が減少し、自治会独自で子ども会を持っていたのですが、今は3つの自治会合同で子ども会を行っています。このような状況になり、自治会としても子ども支援を本格的に考えました。</p> <p>1つめはマンションの中に公園が設置されており、放課後になると公園に子ども達が遊びに来ます。多いときは30人も、マンションの子どもは16人しかいないのにそれ以上の子供達が遊んでいます。マンションの中なので、車も通らず防犯カメラも設置しているため安心して遊べる環境となっています。元気に遊んでもらうことこそが私たちが出来ることです。</p>	<p>自治会としての取り組みの事例を発表していただき、ありがとうございます。子どもだけではなく、広域に渡り、好循環を生んでいるという発表だったのでないでしょうか。</p>	

2つめは自治会では4年ほど前からまちぐるみ美化運動や防災訓練、ラジオ体操等の参加者が少なく困っていました。そこで、子どもにたくさん参加してもらうためにお菓子や飲み物を出しています。子どもが参加するようになれば親御さんや近所の方も参加し、行事を子どもと話しながら一緒にやってくれます。そのような人達が公園で子どもが遊んでいると見に来る、いわゆる見守り活動を行ってくれます。これも大事な不審者防止活動となっています。

ちなみに、先週のまちぐるみ美化運動、4年前は90名切る参加人数が今年は148名の参加人数となりました。防災訓練等の行事も倍以上の人数の方に参加いただいています。

その要因の1つとして、行事の周知にあります。私どもはマンションですので、放送設備があります。行事の前日や当日の朝に必ず放送します。ポスターも必ず貼ります。

そのように情報発信を再三行うことで、たくさんの方に参加してもらえます。子どもたちも一緒に来ると、その子どもが大きくなった時、自治会がどういうものか分かり、自治会に関与してもらえます。そこも含めて考えなければなりません。

そして、先ほど町の対応のお話がありました。昨年の暮れ頃、マンションの周りがある公園のベンチの板が割れ、危ない状態だったので、都市計画課に相談しました。職員の方が見に来て下さり、町に調度良い板があるということで、翌々日頃には対応して下さりました。町は対応出来ることはしてくれるということとは私どもも感じているところで

す。しかし、出来ないこともあると思いますので、出来ないことは、どのようにやっていけるのか言ってもらえば、私たちも住民に話せます。

ですから、自治会として考えていることは、町にやってもらわなければならないことはありますが、自治会として出来ることは何だろうか考え、出来ることは行う。それが子どもの支援にもつながっていくのではないかと思います。

また、先ほど公民館のお話も出しました。去年の公民館まつりに南部を担当している4つの自治会が模擬店を出しました。自治会が参加すると、自治会の関係者が公民館まつりに参加してもらうことが出来ます。参加することで公民館が何をしているのか知ってもらえます。このような方法を使い、自治会の会員に知ってもらえるようにしましょう。

ですから、ボランティア含め子ども支援は町と一緒にやっていく。しかし、自治会、個人的に出来ることは何かと考えると、例えば、お隣、近所の子どもが学校へ行くと、「おはようございます」「行ってらっしゃい」、「お帰り」と言うと、子どもが返事してくれます。そうして顔見知りになると、子どもも我々おじいちゃんに声をかけてくれるようになります。

こうして、子どもや高齢者、みんなが満足し、ある程度安心して住める環境が出来ると、若い人たちも移住したくなるのではないのでしょうか。

ですから、私たちはやってくれるからではなく、何が出来るか考え、1歩ずつ進んでいくことが大事なのではないのでしょうか。



<p>最後に寒川の22全自治会が、子ども支援の委員会と組織拡大委員会を今年作り、個別に審議しています。そのような形で、自治会としても動いているところです。</p>		
<p>宮山自治会をお預かりしている者です。</p> <p>子どもを育てる中で、自治会や私たち含め、何を支援するのか迷っています。</p> <p>実際に支援して下さっている団体さんの周知を個人の方々にPRしていこうかと考えています。そうした中で一番必要なことは、情報の交換です。活動を行っている団体さんだけでなく、一般の方々にも情報が流れる仕組みが出来ればありがたいと思っています。</p> <p>また、先ほどからお話がでている公園の遊具の問題ですが、やはり公園は避難所になる可能性もあるので、公園の活用しやすい環境づくりについてももう少し町として考えていただけるとありがたいと思っています。</p>		
<p><b>【自身の活動について】</b> <b>自助</b>・<b>共助</b></p> <p>私はブックスタートという生後7カ月の赤ちゃんに、健診後に絵本をプレゼントし、それを読むというボランティアを12年前から行っています。引っ越してきた7カ月の赤ちゃんがいるお母さんたちが喜んで帰っていきます。そのときに、やはり新しく来た方からは、お褒めの言葉がありました。</p> <p>そして、もう一つ、35回続いているニコニコリサイクルフリーマーケットを行っています。外から来た方々が出店料が他市町村よりも安いと驚いていました。</p> <p>これら2つとも早い時期から始めていた事にも関わらず、発信が上</p>		

<p>手く出来ていないため、周知が出来ていないように感じますので、コーディネートする方が必要と思いました。</p>		
<p>ステップ・アップ登録で、マナー講座と江戸しぐさを伝承する活動をしています。子育てというのは人育てだと思えます。今、育てている子どもたちが、やがて寒川を担っていきます。子どもだけでなく、周りの大人が子どものお手本となるように、マナーや江戸しぐさ、上に立つ人の考え方や生き方を今のうちに伝えていきます。皆さんのお話を聞き、組織等いろいろあるのだと分かったのですが、私が出来ることしか出来ないなので、マナーを教えていきたいと思えます。</p>		
<p>テーマが「まちぐるみで子育てを応援しよう」ということで、私たちはあくまで応援や支援する側であり、主体は母親や父親です。もちろん支援はしますが、家庭を押しつけてというのは如何なものかと思えます。</p> <p>支援をするのであれば、言葉だけでなく、しっかりと実践をするべきだと思えます。</p>		
<p>高齢者サロンを13年間やっている者です。私が今日来てよかったと思うのが2点あります。様々なジャンルに富んでいる方のお話を聞くことが出来た点です。もう1点は過去にも懇談会に参加したことがあるのですが、毎回時間が短く消化不良感があったので、今年は長い時間を設けて行えているという点は喜ばしいことです。</p> <p>私には孫が4人おり、息子2人も共働きしなければならない状況です。他にも兄弟の年の差が狭まっているため、家に引きこもりがちにな</p>		

<p>りながら育児をしているお嫁さん もいます。両親がいるのであれば、 両親が子育てをするべきとは思 うのですが、今の時代の状況から もそうは言われていません。祖父 母の力もある程度は必要と思っ ています。次回、もし子育てとい うテーマで行う機会がありましたら 、子育て中のお母さん方や祖父 母の方々の意見が聞けたらと思 いました。</p>		
<p><b>【子育て世代の現状把握について】</b> <b>公助</b> 行政や町民、自治会、シニア、ボ ランティアが同じ方向を向くよ うにするべく行政として子育て の目標を設定することが良いと思 います。その目標の一つとして、 今、これだけの多くの子育てに 関する意見が出ましたので、子 育て真っ最中の幼稚園から小学 6年生の親御さんの考えている ことや悩みも含めてアンケート を取り、現状把握をしていただ きたいと思いました。</p>		

**1 3時30分～の懇談会の内容**

参加者	町長	懇談後の経過・結果等確認事項
<p><b>【小谷の子ども見守り隊について】</b> <b>共助</b> 今、小谷の子ども見守り隊の紹介 をいただいたのですが、今の近況 だけご説明させていただきます。 小谷見守り隊は、平成17年に今 市市で起きた幼児の殺害事件が あり、自治会として何かできない かがきっかけとなり、活動が始 まりました。その時は72名でス タートしたのですが、高齢化に 伴い人数が減少していました。 そこで、学校で行われる安全・ 安心を見守る推進会議で保護者 の方に声をかけていたのですが 、手を挙げられる方はいません でした。活動</p>		

<p>始めて10年経過し、限界なのでと保護者の方にお伝えしたところ、保護者の方でアンケートを取った結果、見守り活動はあった方がいいとなり、保護者の方も参加して下さるようになりました。</p> <p>現在は21名で3カ所に立ち、3時半から4時過ぎまでの間、見守りをしています。当初よりは人数が減少し、昔ほどのパワーはありませんが、保護者が参加してくれたという意味で効果はあったと感じています。</p>		
<p>【欠食児童について】<b>公助</b></p> <p>新聞記事で子供の欠食児童がいる話を聞いたことがあるのですが、寒川の欠食児童は何人ぐらいいて、町としてどういうことをやっているかお聞きしたいです。</p>	<p>(事務局)</p> <p>申しわけございません、データを探してみたのですが、5歳から14歳までの児童の朝御飯を抜く率が3.7%であると分かるのですが、全体的な欠食率というと手元にある資料では入手できていません。</p>	
<p>湘南さむかわラジオを展開している者です。小谷見守り隊のことは私が自治会長の時分から知っており、自分の自治会で何かできないか模索したのですが、自治会だけの力では難しいと思いました。ですので、町でも積極的にやっていただきたいです。自治会単体で行うよりも町が押し出すことで、自治会が町民にバックアップしてもらおうよう一声かけるといい形が良いのではないのでしょうか。やはり自治会の会員に推進しなければ、進まないと思います。</p> <p>また、欠食児童についてですが、何年か前に社協から倉見で子ども食堂のような何かできないかと声かけがありました。ですが、個々に声をかけたとしても動きは鈍くなってしまっているので、町がもっと絡んでいく方が途切れずに話が進むと思うので、こちらについても町が積極</p>		

<p>的に関わっていくと良いかと思 います。</p>		
<p><b>【行政防災無線について】</b> <b>公助</b>  復活してほしいなと思うことが  あります。現在、まちの美化活動の  参加率が悪いです。私が自治会の役  員を行っていた時、防災無線を使用  する使用しないで活動の前日に放  送するという所に収まりました。し  かし、若い方は参加せず、年齢の高  い人が多く参加している状況です。  若い人は出かけたり、用事があり参  加が出来ないのだと思っていたの  ですが、後日、話を聞いてみたところ放送がなかったからとのことな  のです。</p> <p>放送に関して当時問題になった  のは、朝から放送はうるさいと電話  があったからとおっしゃっていま  したが、話を聞いてみると1人か2  人くらいの方が何度も電話をかけ  ているとのことでした。4万8,3  00分の1だとか2ぐらいの人し  か放送に対してのことを言ってこ  ないのならば、放送したほうが若い  人、子ども連れのお父さんやお母  さんが参加するようになると思いま  す。これは子育ての姿勢にもつなが  ることなのではないのでしょうか。  町の美化に関して町民全員が意識  を持たなければ将来、町が荒れ放題  になりますので、朝の防災無線を是  非とも復活を考えていただきたい  です。</p>		
<p><b>【子どものイベント参加方法につ  いて】</b> <b>共助</b>・<b>公助</b>  今の件で、おっしゃることはよく  わかりますし、私たちも参加してい  ると、若いお母さんやお父さんが、  子供を連れ、袋を持って集めている  光景に出会います。子どもに偉いね  と言うと、子どもはうんと言ってや</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>午前中の懇談の中でも、美化運動  に子ども達の参加を促すために、お  菓子を用意する取り組みを行って  いる自治会さんもありましたので、  そういった面では有効なことだと  思います。</p> <p>また、子どもが参加すれば親御さ</p>	

<p>ってくれています。もしかすると、飴でもいいので、子どもが参加したらプレゼントをするなど子どもが喜ぶことを加えれば、子どもの参加も増えるのかと思っています。子どもが参加すると雰囲気も良くなるので、何かしらの工夫をしてみるのも良いかと思っています。</p>	<p>んも参加してくれ、参加者の増加につながったとう事例もありましたので、子どもが参加するようなイベントは大事だと思いました。</p>	
<p>倉見は全域にお茶やジュースを渡します。子どもが来れば親もついてくるのは分かるのですが、出すというお知らせをしなければわからないです。美化に関する意識が特に薄いので、意識づけるための動きを町でも以前のように行って欲しいです。1回流すだけでいいので。朝早い時間でもないで、それで電話が来るのが納得いきません。</p>	<p>その方は夜勤明けの方です。日中働いて、夜寝てという方であれば、少し早いですが、年に2回なのでご勘弁いただけたらと思います。</p> <p>正直、総合防災訓練のアナウンスですら同じ方とは限りませんが言われてしまいます。本来、防災行政無線は行方不明や緊急時、災害時の放送に限られていますが、全町民に参加を促す放送であれば、お話があった通り苦言があったからやめるのではなく、放送内容等を工夫し検討すべきだと思います。また、前日だけで事足りているとは思っていません。</p>	
<p><b>【子どもの通学路の危険箇所について】<u>公助</u></b></p> <p>東中から大曲踏切を経て、ひだ酒店の前の道路は子どもの通学路として使われているが、非常に狭くて危ないです。子どもが通れる道が片方にしかなく、用水の上にふたがかぶさっており、穴ぼこや段差があります。自転車は通れず、小さい子どもは蹴躓いて転びます。近年、あそこの交通量は増えており、車のスピードも速いです。大曲踏切を渡ってすぐ左側は新築の住宅が建ち、これからますます子どもが増えていきます。近頃、車が子どものところへ突っ込み、多くの子どもが怪我をする痛ましい事故が多くありますが、あのような事態になりかねません。早急に対処して欲しいです。</p>	<p>通学時間帯にかかる部分については、子供の安全についても非常に心配、苦慮しております。</p> <p>これは1つの例なのですが、一方通行や進入禁止、時間規制、通行車両の規制などの手段を打たなければなりません。道路を広げることが最短の最善の策かもしれませんが、時間や経費も含め、お話のあった道路の両側は住宅が連檐しており、道路を広げるスペースがありません。早急に安全確保をする上では、規制をせざるを得ないと認識しております。</p> <p>いつやるのかについては、議会や警察との協議をし、規制というのは制約をかけることなので、近隣の方の説明も含め、早急にどう対処するか考えていきたいと思っています。</p>	<p><b>【町民安全課 防犯・交通安全担当】</b></p> <p>規制看板の設置など道路交通法上の規制に関しては、県公安委員会の所管となり、その窓口は茅ヶ崎警察署となります。</p> <p>また、各種交通規制は車両の通行に対して制限をかけるため、地域住民・企業等に大きな影響を与えることから、交通環境や交通事故の発生状況等を勘案の上、関係する自治会を通じて地域住民・企業等のご理解を得た上で実施する必要があります。</p> <p>町といたしましても、本箇所については通学路危険箇所点検等で現状の把握をしておりますので、地域との調整を図り、要望に沿った現状可能な注意看板等の設置を</p>

		<p>進めているところでございます。</p> <p>今後とも、安全確保できるよう地域、警察及び交通関係団体等と協力し交通安全対策に努めていきたいと考えております。</p>
<p>倉見にもそのような道は多いです。私が自治会長をしていた時に幾つか改善したのですが、止まれの際の標識を付けるとなると公安委員会が出てきたりして話が進みません、そこで看板を町に作ってもらいました。しかし、まだ一部にしか看板は設置しておらず、子どもたちは飛び出してきて危ないです。簡単に立て看板のように対応できるものがあれば対応していただきたいです。</p>	<p>ありがとうございます。通学路に関しては、各小中学校から要望書が上がっており、それについては対応されていると思います。それ以外の場所については看板を建て過ぎると見づらくなる場所もあるので、最適な場所に設置しないと意味がなくなってしまうので、建てられるところは対応していきますので、よろしくお願いします。</p>	
<p>各地域で細かい道などを皆で徹底的に調査し、役場に提出した方がいいと思います。部分的にやっても他のところで事故が起きる可能性がありますから、全体で調査し、自治会なら自治会で中心になり、子どもがいる親も参加してもらおうということをした方が、今後、そのような道が出来てもすぐに応用できると思います。</p>		
<p>東守神社の二股になっている左側の農道上に、30キロと制限速度が書いてあるのですが、削れて見えないところが多くあります。会員からも直して欲しいとの要望があり、小学校の評議委員会でその話をすると話を持っていく場所が教育委員会なのか、道路課なのかかわからないという話になりました。町の指導でそういう形を前向きに取り組んでいかないと改善できないとおもっています。</p>	<p>町でも年に2回、全職員で分けをし、地域ごとの安全点検を行っているのですが、1年経つと消えてしまいます。道路標示は基本的に公安委員会になり、警察を通す話になってしまいます。ですので、要望をまとめ、その都度に町から警察に提出する流れにはなっていますが、町からも強く言うようにします。</p>	
<p>地域で見ていくというのはすごく大事なことだと思います。役場の人たちが見るといっても、仕事の関係で見るといふようなところしか</p>		

<p>わからないので、地域に住んでいないと分からないこともあります。ですので、地域で提出するのは良いことだと思いました。</p>		
<p>既存の、例えば道路が見えなくなっているという場合は公安委員会ではなく、道路課がなぞって書くようなことはできないのでしょうか。そうすればすぐに対応できると思います。</p>	<p>特殊な材料を使わなければならないので、できないのです。基本的には警察の範疇になるのですが、復元するものや消えかかっているものは議会との調整はしていませんが、町で先に手を打ち、その後、県へ要求する形をとりたいと思っていますが、県が良しとは言わないので、話がまとまっていません。しかし、危険性の高いものについては地元の県会議員に話す場はありますが、県や警察の管轄だからといって町ではないというのではなく、町としても声を根気強く上げていきます。</p>	
<p><b>【最小学歴について】</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">共助</span></p> <p>私、家は藤沢に住んでおり、地元でも児童クラブの委員長や子ども食堂等いろいろ活動しています。それらで話をしていることなのですが、現在は最終学歴よりも最小学歴が大切であると話をしています。子どもは初めて外に出ると乾いたスポンジ状態になっており、最初に触れたものを吸収し、2度目からはあまり吸わないのです。どのような環境で地域の人と一緒に生まれ育ってきたのかが大事なので、最小学歴を重要視しています。だからこそ、子どもを支援する活動はとても大切なことです。</p> <p>子ども食堂で行われているのですが、同じ食材を使用し調理をしています。すると、子どもからはなぜこの食材がいつも使われているのかという時に、寒川で例えると、なぜいつもトマトや梨ばかり使用するの、地元でたくさんとれるから</p>		



<p>と説明します。そうして自分の町を通し、郷土愛が生まれてきます。これは郷土愛を持っている人だからこそ行えることです。</p> <p>このように最初学歴、子育てを地域の皆さんが支え合うことで郷土愛が生まれ、転出抑制につながると思います。</p>		
<p><b>【子どもの通学路の危険箇所について】<u>公助</u></b></p> <p>安全・安心でもう1点。現在、ブロック塀の危険性について報道されており、町でも対応して下さっていると思います。その中で大谷石を使っているところが劣化しており、危険だと感じています。特に丸子茅ヶ崎線の停留所もすぐそばにある大谷石のフェンスが劣化しており、倒壊の危険はないと思うのですが、地震が起きた時の倒壊リスクが高いと思います。それについてお話をしようと思ったのですが、ご近所付き合いもあるので言いづらいことです。町ではフェンスや壁を見直す計画があるというお話を聞いたので、ぜひお願いしたいです。</p>	<p>大谷石は地震で完全に倒壊しません。東日本の時に倒壊した事例も町内にあります。大谷石自体、時間経過とともに風化し、すかすかな状態になり、非常に耐久性も落ちてきます。承知しました。</p>	<p><b>【都市計画課 都市計画・開発指導担当】</b></p> <p>昨年度に、町内全域でブロック塀等の調査を行い、危険と思われるブロック塀等の所有者の方に、危険箇所点検のチラシのポスティングをしております。また、本年4月より、ブロック塀等の防災工事の補助制度を創設致しました。あくまでもブロック塀等は、本人の個人所有のものであるため、防災工事は本人の責任において行うものではありませんが、町として安心安全なまちづくりを進めるため、補助制度の周知を図ると共に、危険ブロック塀等の除去を推進したいと考えております。</p>
<p>特にバス停のそばというのは怖いです。</p>		
<p>通学路に多いです。大谷石だけに限らず、いわゆるブロック塀は災害が多くない以前に建てられところは鉄筋がしっかりと入っておらず、揺れれば倒れてしまいます。町で一回大谷石含むブロック塀全てを見直さないといけないと思います。特に通学路はお願いしたいです。</p>	<p>ある程度の高さで危ないと思われる道路に面しているブロック塀を含む塀については、全て点検を役場の担当でさせていただいていきますので、恐らく担当から伝え、その方のご承知だと思われま。補助制度も出来たので、作り直していただくと有難いとは思っています。</p>	

## 2. あなたと町、力をあわせてやってみたいことは？

### 9時30分～の懇談会の内容

参加者	町長	懇談後の経過・結果等確認事項
<p>(中島部長) それでは、2つ目の、「あなたと町、力を合わせてやってみたいことは？」にテーマを変えさせていただきます。</p>		
<p>【土地活用について】<b>共助</b>・<b>公助</b></p> <p>越の山地区と岡田、いわゆる県住宅の間に自然環境保全地域なのですが、樹木や雑草が育ち放題になり、周りの住民からすると、いつかその樹木が倒れて民家に危険があるのではないかと心配になります。また、地域としても活用出来そうなので勿体ないと思います。その土地は私有地や県の管轄など問題がたくさんあると思いますが、危険だからと樹木を切るだけでなく、有効活用出来ないかとエコネットというボランティア団体が立ち上がっています。</p> <p>そこで提案なのですが、寒川を魅力ある町にするということに繋げるべく、世界の花を1株ずつ町民が持ち、どこにもないお花畑を作るといのはいかがでしょうか。</p> <p>私は民間団体だけに任せていいのかということを示したいです。出来ない、進まないという困っている状況に、町としてどれだけ支援をしてあげられるか、それに加えて両者一緒に行うべきです。土地の問題である地主さんへの交渉も直接働きかけられるのはやはり行政だと思います。魅力ある町にするためには、自然の土地を私有や県の土地であっても有効活用しない手はありません。エコネットを応援することに加え、協働をすること、何年計画でも構わないので、実施出来ればと思いま</p>	<p>(中島部長) ありがとうございます。説明が分かりにくいものであったと思われ申し訳ありません。例えば、小谷地域防犯安全パトロール隊の場合、町はお金を出して、あとは団体さんにおまかせするのではなく、協働なので、町民安全課と団体さんと話し合いをし、役割分担をしています。他の団体さんの場合も同じように行っています。</p> <p>今のお話については、担当課も当然承知していると思われ申す。私もからも担当課に話をし、出来ないのであれば何が問題なのかを明らかにしないといけないと考えますので、分かり次第、お伝えさせていただきます。</p>	
	<p>あの木は年数も経ち、高くなっていますし、手入れもされていません。ましてや台風時期になると倒木の危険性もあるので、地権者、所有者の方には県と調整して下さいとお願いはしています。ご本人もやはり管理が大変だとおっしゃっています。</p>	

す。		
<p>管理が個人で難しいのであれば、例えば管理を行政にお願いし、両者が得する使用方法にするなど良いかと思います。</p>	<p>地権者の方と面識がないわけでは ありませんので、またお話をして、 よりよい方向に持っていきたいと思 っていますので、しばらくお時間い ただきたいと思います。</p>	
<p>【パトロールについて】<b>共助</b> 先ほど紹介いただいたパトロー ルですが、小谷のお名前が出てお り、我々からすると、小谷の地域 だけなのかという印象を受けてし まいます。大変いいことなのですが、最終的に寒川町を全体的にパ トロールするという方向性につい てどのようにお考えなのでしょう か。</p>	<p>現在、自治会さんで5団体にパト ロールを、特にお子様の見守りを主 体に活動されています。将来的には 全部の自治会さんにこのような組織 が出来ると有難いなと思い、お声 かけは個別にさせていただいてい るのですが、車を出してまで行うのは難 しいのが現状です。車を使わない見 回りはあるのですが、車を出してと なると小谷自治会さんだけです。</p>	
<p>例えば、シルバー人材センター は様々な業務で集まっているの で、そこでパトロールに使用する 車の手立てができ、そこの団体に 町内全体をパトロールする業務が できればと思っています。 特に宮山地区の場合は農家さん が多いので、パトロールの車は持 っているのですが、お仕事をされ ているので、お話してみても難し いという返答というのが実情で す。ですから、パトロールしてい ると町内全体にPRする仕組みづく りはできないかと考えています。</p>	<p>町の対応としましては、防犯アド バイザーが午前中は町内全域を、曜 日ごとにそれぞれの小学校区を下校 時に見回っています。また、役場 には青色回転灯を常時つけている車が 2台あり、各公用車には常時ついて はいないのですが、複数人の場合は 回転灯をつけ、防犯の抑制となるよ うにしております。このように町と しては行っているのですが、できれ ば地域で盛り上がりをとっております。</p>	
<p>子どもは、登校時と下校時に旗、 また帽子、腕章、胸章をつけ、目 につくような格好で、安全に登下校 できるように決めたところに立っ ています。車でとは今のところ考 えていませんが、子どもの安全・ 安心を守りたいと思い、年に1~2 回、寒川小学校で町内の団体の責 任者が集まり、警察の方含めて学 校からの要望や現状、注意事項の</p>		

<p>伝達を踏まえ、活動をしています。</p>		
<p><b>【子どもの健康づくりについて】</b>  <b>共助</b>  2つあります。1つめは、寒川の投票率がひどく、低いのは周知の事実であり、投票率を上げる応援をしている団体と子育てママが輝くためのママたちの自主活動がコラボするという驚きのお話を聞きました。全く考えもつかない異分野と一緒に活動するとは、このような発想はないと思ったので、町も思いがけない分野をくっつけて活性化につなげていただきたいと思いました。</p> <p>2つめは、子育てに関してです。子どもに関する問題は先ほどお話にあった貧困、その他に幼児の体力の低年齢化と学童の女子が運動をしないことがあります。幼児や女子が体を動かす環境づくりを作らなければいけない中で、協働事業の中でどこかとタイアップできたらと思い、何かアイデアがあったら教えていただきたいです。</p>	<p>まさに協働は横の連携であり、関係のないところと一緒にになると飛躍的な効果がでることが偶にありますので、確かに狙い目かと思われま。町としては、そのような団体さんがあるのであれば教えていただきたいと思うので、後ほど事務局に教えて下さい。</p>	
<p><b>【音楽イベントについて】</b> <b>共助</b>  私は音楽を嗜んでおり、若い人たちに知らせたいので、音楽フェスをやりたいです。音楽は見に行きやすく、移動しやすいので皆来やすいと思います。</p> <p>もう1点、認知症の問題です。4人に1人が認知症になる時代であり、神奈川県知事も未病の問題として取り組んでいます。私は今、認知症の先生と一緒に楽器を弾くとどれだけ認知症にならないか検証しており、1番効果があるのが歌を歌うことでした。また、楽器を弾くと脳が発達するというので、ウクレレを用いて、皆で弾いて歌うことを藤沢で活動していま</p>	<p>違う視点からのご意見ですので、これはどこかの団体とどこかの団体というより、町の担当課に情報として発信しておきます。</p>	

<p>す。そこと何かをコラボレーションできたらと私も考えています。</p>		
<p>【歌声喫茶について】<b>共助</b>      私たちも5年、歌の活動を行っています。認知症を防ぐためにと始めたのですが、人が増えないのです。歌声喫茶のようなものを目標として始めたのですがなかなか状況です。</p>		
<p>新宿の歌声をやられている方たちがいて、その人たちの会は毎回満席なのです。</p>		
<p>私もそれを狙ったのですが、寒川では全然です。</p>		
<p>指導員の方がそれなりにいるからだと思います。今、その人たちと一緒に活動をしています。</p>		
<p>歌っている間は楽しいですが、また来月、20人来てくれるのかと思うと心配になります。先生にもお礼出さなければいけないので、それが一番心配です。役場にお金をと思うのですが、難しいようです。</p>		
<p>二、三千円でできるので、それはほとんどの市といいますか、援助は借りずに、後援はしていただき、広報だけはしていただくというのはいかがでしょうか。</p>		
<p>会費は二百円なのですが、思うように人が集まらないです。</p>		
<p>男は多くて3人ぐらいです。</p>		
<p>寒川には女声合唱団は多くありますが、男声合唱団は1つしかありません。</p>		
<p>活動することは楽しいです。ピアノの先生と指導してくれる先生2人来て下さっています。ぜひ、今年も頑張って、大勢増やしてやりたいなと思っています。</p>		
<p>町民センターでも歌声喫茶行っています。3カ月に1回ほど、私</p>		

<p>も参加しています。展示室2で100人ほど集まり、その中に男性も20人ぐらいいます。私のところも認知症の抑止力として歌を行っているのですが、それだけでは難しいので、体操や施設訪問等もしています。活動をしていても認知症になり、会から脱退することになってしまうのはなぜだろうと会として悩んでいます。</p>		
<p><b>【遺物との協働について】</b> <b>共助</b>・<b>公助</b></p> <p>先ほど、外から見ると寒川神社しかないとおっしゃっていましたが、縄文時代の遺跡が寒川にはあります。日本でも有数の、四千年前の遺跡があるにも関わらず、町民に周知されていません。観光協会もパンフレットを作成しているのですが、認知度は低いです。町内にも歴史が好きな方はたくさんいらっしゃるので、「高座のこころ。」というのでしたら、昔の寒川にしかない遺物と町民の方とコラボして、もっとアピールするのがよいかと思います。</p>		
<p><b>【行政の協働について】</b> <b>公助</b></p> <p>協働事業に関して、町ができることが全体的に場所を貸す、道具の貸し出しなど物に終始しているような印象を受けます。対等な立場で行うのが協働であるのに、行政なので難しいところもあるかと思うのですが、レンタル屋の印象を受けたので、物だけでなく、事消費のようなことをと思いました。</p>	<p>(中島部長) 前面に出にくい部分を行政は行うことが多いです。例えば、行政同士の調整や警察の調整は行政が行うのが早いので、または書類関係などは行わせていただいています。確かに現場に出て一緒にということは少ないです。ごみ関係でいいますと、草むしりを行っていただく団体があると、ビニール袋はお渡しします。団体さんには草むしりを行っていただき、草はその場に置いていただければ、町が回収し捨てますなど役割分担はできていると思います。ただ裏方に回ることが多く、目に見えていないので、たまには町が全面に出ることも大事なのでは</p>	

	う。ありがとうございます。	
例えば音楽のイベントの場合、あるかは分かりませんが、役場の中にクラブがあるのであれば、その人たちも参加するなど、それが協働となるのか果たして分かりませんが、物だけでなく、事や時に視点を向けたら面白いと思います。		
<p>相模原市に風っ子展というイベントがあり、行政が場所とイベント内容だけ提示し、学校や町民団体などが、各々テーマに沿って作品を作り、展示をします。そして、自由に作品の発表をするというものです。その中には展示をしたけれど手が足りないので、学校や商業団体とコラボし、作成したというところもありました。これも行政と町民との協働ではないかと考えます。</p> <p>寒川の中央公園は広いので、場所的にはできない話ではないと思うので、事消費という部分では音楽と関連があると思います。美術に限らず、芸術の分野を発表するという場が寒川にはあまりないように感じるので、そういうことができる面白く考えています。</p>		

### 1 3時30分～の懇談会の内容

参加者	町長	懇談後の経過・結果等確認事項
<p>【目久尻川の観光資源化について】 共助・公助</p> <p>私が自治連の会長を行っていた時に、目久尻川の観光資源化について環境課や道路課に持ち掛けたことがあります。目久尻川の河岸の清掃を年に1、2回行うのですが、枯草に足を取られ危険ということでみんなが通る道路に落ちているゴミを拾う程度で終わっていました。</p>	<p>ありがとうございます。樹木となるとハードルが高いですが、菜の花がきれいな時期が確かにあります。</p>	

<p>そこを例えば様々な種類の桜を埋め、長時間、桜見物が出来るようにすると寒川神社やわいわい市以外の観光資源物になるのではないのでしょうか。それらについて何回か会合を行い、話がまとまりかけた段階で任期が満了し、話がどこかへ行ってしまったのですが、目久尻川の観光資源化を行うのはいかがでしょうか。これは地域の人のみで行うのは難しいので、町と協働し、行っていかなければならないので、検討いただければと思います。</p>		
<p>雑草を刈り取り、菜の花やサツキ、シバザクラなど、季節に出てくるものを植え、川の水がきれいになれば、ホテルが出てくるようになります。寒川らしい観光資源になると思います。</p>		
<p>目久尻のヤギがいるあたりにユキヤナギが綺麗な時があります。あれが一面あれば、寒川神社に来る人だけでなく、それを目当てに来る人も出てくるのではないのでしょうか。</p> <p>また、まちづくりにとって大切なことは地域に目玉を作っていくことだと思います。新幹線もそうですが、それだけに頼るのではなく、先ほどもおっしゃっていたシバザクラのように、町民が頑張りながら、町にも協力をしてもらうという形を取って進めていけたらと思います。</p>	<p>目玉になるようなもの、最近、寒川町はホイールスポーツの町だと言われていますが、頑張っています。</p>	
<p><b>【わいわい市・寒川神社について】</b> <b>共助</b></p> <p>わいわい市や寒川神社には様々なところから来ていますが、周辺で食べる場所がありません。よそでは道の駅で地域のを食べることが出来るが、寒川では食べる場所がないという話をよく聞きます。</p>	<p>確かにわいわい市はお弁当も売っていますが、食べる場所があると良いと、承知しました。</p>	
<p>寒川神社にはバスツアーでお客</p>	<p>食事やお土産など、何か買って</p>	



<p>さんが何十万も来るので、寒川を栄えさせるためにも寒川で収益が上がるようなお店や名物を作ったらと思います。</p>	<p>ってほしいです。しかし、行政は観光経営を行えません。観光地域づくりに町が関与することは可能だと思います。議会でも観光的な良さや潜在資源があるのですから、それを生かしたまちづくりをという提案がありました。観光協会で寒川町観光の観光ビジョンのような提言書が出ており、私はそれを参考に観光振興ビジョンのようなものを作ろうと答弁をしています。早い段階で今年度中にはその一端を出していきたいです。また、観光地域づくりは民間の部分ということもあり、計画を示していただけたらと思います。商工会でもそのあたりについては考えがあるようなので、具体化出来ればと思います。</p>	
<p>町の産業振興課などで民間に誘致をかけることは出来ないのでしょうか。</p>	<p>(町民部長)そのような動きは可能です。</p>	
<p>寒川2020プランの中には門前町構想みたいなものもあります。すると、寒川神社にきた百何十万という人間の滞留する場所もありますが、なかなか門前町に出来ず、難しいです。</p>		
<p>東参道の話にしても、進まず燻ってしまうのであれば何が駄目だったのか、対案を考えていただきたいです。</p>	<p>儲かるのであれば、行政が規制をかけても民間であれば行おうと思うので、何か欠けているのかと思います。</p>	
<p>発言者が起業家であればすぐに行ってしまうと思います。しかし、地元で代々大事にしてきた人は弄りたくないのだと思います。それはどこの地域でもそうだと思います。その思いが強ければ、東参道は難しいです。それならば西参道の方が作りやすいと思います。三が日は全通通行止めしている状況で通っています。このように対策を取っていただきたいです。</p>	<p>東参道構想も1つのモデルがあります。ですから、他でやっているものを寒川で行うという発想は持続性がないので、町としても支援する形はとりづらいです。</p> <p>しかし、今おっしゃられた通り、あの宮山に住んでいる方や若い地権者の方が将来の寒川を見据えた中では、土地利用や業態としても事業を展開していこうという話があるので、今後のビジョンを提示しつ</p>	

	<p>つ、行政の考えと地域の方が合わされると、何名かの中でやっていこうという話になってくると思われま</p>	
<p><b>【民間の留客力について】</b> <b>共助</b></p> <p>まちづくりのアドバイザーみたいなのをやった中で、町と地域住民と企業の連携、企業の新しいノウハウを取り入れましょうということがありました。民間企業では、留客力をキーワードに事業計画を作っています。つまり、個々の商店を作り、町を活性化するということから、複合型施設、ショッピングモールを作り、1カ所で済ませる手法です。そうした留客力という切り口から、町や町民、企業が一緒に行うことで新たな視点から産業活性化に繋がると思います。</p>	<p>ありがとうございます。確かにせっかく神社に来て下さったお客様が、ご祈祷が終わって帰ってしまうよりは、1日寒川で楽しく遊べるというのが一番いいと思います。</p>	
<p><b>【農業との協働について】</b> <b>共助</b>・<b>公助</b></p> <p>観光農業の分野が欠けていると思います。寒川の名産品のメロンやスイートピーは観光資源として有効だと思うのですが、切り取り体験をるところがありません。芋掘り体験を1カ所出来るところがありますが、取れる芋の種類が限られており、寒川ではこんなに美味しい芋が作れるのだと、農家の方に協力していただいて、何か立ち上げられないかと思いました。</p>	<p>農業を行っている方は体験をせずとも成り立つ方が多く、体験の経営を行われません。しかしながら、私たちからすると惜しいと言いますか、地域の特質を生かしていただけたらと思っております。</p> <p>また、地権者の方と具体的にお話はしていませんが、半数の方は農業を継続したいと考えているようです。しかし、年齢的なこともありますので、後継者がどのようにあのエリアを生かしていくのか、自立出来る経営をしての場所のあり方も考えていかなければと思っています。</p> <p>しかし、農業も今、福祉との連携、農福連携も考えていかなければなりません。寒川でも引きこもりの方がいらっしゃるので、その方々を何かの作業に従事していただく中で、農業を行っている地域もあります。また、そういったことを進めたいとお話を持って来る方もいらっしゃいます。正式な協議は行われていま</p>	

	<p>せんが、動きもあるので、JAさんも含め農業がどうあるべきか考えていかなければならないと思っています。</p>	
<p>農業分野がこれから非常に伸びるだろうと思います。私と一緒にリタイアしてきた者ほとんどが農業、家庭菜園を喜んで行っています。農園や畑をリースしたり、そこで生活が出来るような場所を貸したり、農業のやり方を教えるようなビジネスの後押しをしていくのも良いと思います。東京や横浜から近いこともありますので場所的にも良いと思います。</p>	<p>この辺でも始めているところもあります。東京のほうから週末だけ寒川に泊まりで農業をやりこらして、平日は農家さんが面倒を見て下さるといふ。確かにそれも面白いと思います。</p>	
<p>【イベントについて】<b>共助</b>・<b>公助</b>        皆さんのお話を聞いて、家庭菜園の味対決を公園でイベントを行ったり、わいわい市にお客さんがたくさん来るのであれば地元の産物を使ったレストランがあったらと思いました。びっちょり祭りや産業まつりなど既存のイベントとタイアップして行うのも楽しいと思います。</p> <p>また、町内のお店に呼び掛けをして寒川味メッセのようなイベントを行えばお店のPRにも繋がるので手を挙げてくれるのではないのでしょうか。そこにわいわい市の花も売れば、先ほどのお話にあった留客力というお客さんを留まらせる仕組みになり、1日中寒川にいてくれるのではないかと思いました。</p>	<p>ありがとうございます。聞いてるだけで楽しいです。確かにちょい呑みだけじゃもったいないと思います。</p>	
<p>ちょい呑みも新しいお店を開拓するのにちょうどいいです。</p>		
<p>私はちょい呑み以外にお通しグランプリというのをやってみたいです。寒川でよく飲むのですが、お通しでこんなに美味しいものを出すのかと驚きました。お通しもお店のオリジナリティーが出るので面</p>	<p>ありがとうございます。寒川のちょい呑みは3軒回れます。料理と飲み物がついているので、その料理の部分がお通しになると面白いです。</p>	

<p>白いです。お通しになるとお酒も入り、必然的にお金の落ちる単価が高くなります。お通しであれば女性の方も食べきれると行きやすくなると思います。寒川で行ったら全国に広がるのではないかと思います。</p>		
<p>寒川の今まで行われているイベントが例年と同じような企画で面白みがないので、参加者が少ないと思います。例えば、駅前で行っていた朝市は初めに出来た企画通りにずっと開催し、最終的には3分の1ほどの出店しかありませんでした。目玉となる企画がないと人は集まりません。ましてや昼間と同じ値段のものであれば朝早く行く必要がありません。朝市に関わったことがあるのですが、正直これでは人が来ないと思いました。</p>	<p>一度行くと風景が見えてしまい、新鮮味がなく、お肉やお魚、土のついた野菜があればという声を反映しなかったのが長続きしなかった原因だと思います。</p>	
<p>朝市だけでなく寒川のイベント全体に言えることなので、もう少し何か違ったことを取り入れなければと思います。町を変えていくのはよそ者です。新しい企画を作るのには個人の力では限界があるので、町が積極的に応援してくれるかが大事なことだと思います。</p>		

### 3. その他

#### 9時30分～の懇談会の内容

参加者	町長	懇談後の経過・結果等確認事項
<p>【町外の人に寒川の魅力を伝える方法について】<b>共助</b>・<b>公助</b></p> <p>1カ月前に寒川に引っ越してきたばかりの者です。生まれは鎌倉で、20年ほど藤沢に住んでいました。</p> <p>この町、大変魅力的で、人が非常に温かいです。寒川は土地の価格が安く、生活が困窮している子どもを</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>寒川育ちの方だけの意見ではなく、最近、寒川に引っ越して来られた意見というのは懇談がより盛り上がるので嬉しいことです。</p>	

<p>育てる側からするとありがたいことです。また、引っ越しをする際に調べたのですが、凶悪な犯罪が今までにないこともすごいと思います。このように寒川は私から見て非常に魅力ある町だと思います。ですから、外からと中から見るのでは違うと思うので、そこを繋ぎ合わせる事が出来たら、若い方が寒川に来るのではないのでしょうか。</p> <p>また、今回の懇談テーマが子育てを応援ということなので、子育てしている方を2、3人ご招待し、お話を聞くことで、様々な意見が出たのではないかと感じました。</p>		
<p><b>【図書館について】</b> <b>公助</b></p> <p>寒川町には本屋がないので、私は近隣に買いに行きます。そこで、寒川の図書館の一部のスペースを利用して本屋のような機能を設けてもらえればと思います。必要なもの、すぐに読みたい本、取り寄せするというサービスを行政で行えたら、これは全国初めての取り組みなのではないのでしょうか。</p>		
<p><b>【情報発信について】</b> <b>公助</b></p> <p>年々、高齢化に伴い、町の施設やお店が変化する、なくなる等あります。幼い頃からずっと見ている中で、便利になった、不便になった点というのは非常に感じます。例えば、移動手段です。年齢に応じ自転車や車と移動手段は増えるのですが、町の中だけでは解決出来ないものが増えてきています。先ほどお話をした本屋もそうです。本屋に行くために茅ヶ崎に足を運ばなければいけない。移動手段があるとはいえ、外に出るということはやはり大きな違いがあります。なくても何とかかかりますが、やはりあった方がというようなことは感じています。</p>	<p>情報発信という部分が欲しい人に欲しい情報が伝わっていないというのが今の状況であるとよくわかりました。ありがとうございます。</p>	<p><b>【広報戦略課 広報プロモーション担当】</b></p> <p>町では、広報誌をはじめ、ホームページ、メール配信サービス、SNSなどによる情報発信を行っています。</p> <p>町ホームページでのイベント情報につきましては、トップページの「イベント情報」からイベントカレンダーを見ることができるようになっております。</p> <p>今後も、必要な情報を取得しやすいホームページとなるよう工夫に努めるとともに情報発信の充実を図ってまいります。</p>

<p>また、情報発信について、広報紙や放送など様々な施策や努力をしているとは思いますが、町のイベントの情報などが伝わりにくいと感じています。町の掲示板や広報紙など自分から見ないと気付かないです。町の中もそうですが、外に向けてもしっかりと発信していかなければと思っています。外からもどんどんイベントに参加してもらうことで寒川町を知ってもらうきっかけにもなります。そうすることで町の中にいる人も知ってもらえるのではないのでしょうか。</p> <p>特に、常日頃から思っていたのですが、寒川町のウェブサイトについてです。土日にイベントがないかと調べるのですが、イベントの情報が見えにくいです。例えば、年間を通してのイベントスケジュール、他市町村のウェブサイトにはイベントカレンダーという形で掲載されており、クリックすると、この日はこのイベントがやっているとすぐに分かるようになればと思っています。また、そうすることで過去、この時期にはこのイベントが開催していたと知ることが出来れば、今年も開催するのかと興味を持つのではないかと思います。</p>		
<p>【八角広場の水道について】<b>公助</b></p> <p>皆さん観光マップを用いて、寒川の町歩き、廃線歩きということをされています。私も一之宮の八角広場に行くと、手を洗う水が出ないです。</p>	<p>(中島部長)</p> <p>水道ということでしょうか。</p>	<p>【都市計画課 みどり・国県担当】</p> <p>現地確認し、水栓交換を試したところ、水道の復旧できなかったため、原因の調査を行っております。水道の復旧につきましては今しばらくお待ちいただきたいと考えております。</p>
<p>【広報掲示板について】<b>公助</b></p> <p>私も孫と遊んでいて水が出ないと思っていました。近くに自販機もないので、余計に水が出ればと思います。また、観光の方が言っていた</p>	<p>（対角線）</p>	<p>【広報戦略課 広報プロモーション担当】</p> <p>広報掲示板につきましては、設置当時と比べ住宅等の建築などの街並みの変化により、その設置効果も</p>

<p>のですが、噴水の水が出ればなど話していました。</p> <p>もう一点、フリーマーケットのお知らせを掲示板に50カ所ほど貼るのですが、貼りづらいところがあります。昔と町並みも変わったこともあり、住宅地は特に掲示板見ないのではないかと思うところに設置されていますので、掲示板の位置を再確認した方がと思います。</p>		<p>変化しております。また、設備の老朽化もあることから、適宜交換等のタイミングを見計らって、設置場所についても調整をしていきたいと考えております。</p>
<p>【一之宮交番について】<b>公助</b></p> <p>一之宮交番、今度、防犯協会に委託されるというお話を聞いたのですが、あれは町がお金を出してやっていることなのでしょうか。</p> <p>また、どこを回っているのかが分からないです。チェックリストをつけたたり、日報を出すなどそのような管理をされているのでしょうか。</p>	<p>委託ではなく、町職員が行っています。町の施設になっているので、日報もしっかりと書いてありますので、ご安心下さい。月曜日は防犯アドバイザーと相談員含め3人で打ち合わせをする日になっていますので、その日にお話を聞きに行ってみて下さい。</p>	
<p>【行政組織について】<b>公助</b></p> <p>総務課の中に職員力推進担当という組織があるようですが、ホームページを見ただけでは何をやっているのか掴めなかったので、教えていただきたいです。</p>	<p>福利厚生や給与計算、職員の人事関係などを行っている担当になっています。基本的には職員の育成を行っています。</p>	
<p>職員力推進担当というのはすごいと思ったのです。</p>	<p>もっと頑張ってもらわないといけないのです。</p>	
<p>わかりました。これから期待します。</p>	<p>ありがとうございます。</p>	

### 13時30分～の懇談会の内容

参加者	町長	懇談後の経過・結果等確認事項
<p>【自転車マナーについて】<b>公助</b></p> <p>1つお願いがあります。お願いといたしますか実態として、小学校で子供の安全・安心を見守る推進会議というのを過去、年2回、7月と2月に行っていました。その会議にはスクールカウンセラーや茅ヶ崎警察のOBの方が来ます。そこで私が警察のOBの方に自転車のマナーがよくないので、月に2回ほど自転車専門</p>	<p>(町民部長) 実は、県が4月に県条例を作り、10月から正式に自転車損害賠償責任保険等への加入が義務化されます。現時点では、全中学生にはチラシを配布し、PRをしていますので、これからのキャンペーンを含め、町としてもPRを行いますので、よろしくお願い致します。</p>	

<p>の取り締まりをして欲しいと伝え たことがあります。</p> <p>そこで町長にお願いしたいのは、 相模原で行っている自転車に自賠 責を必ずつけさせるということ を寒川でも行って欲しいです。町 の財政状況もあるでしょうが、自 賠責をつけることで自転車利用 者の意識が高くなると思いま す。自転車は軽車両なので自賠 責をつけるのが筋だと思っ たので、町として初めてのよ うな形で、センセーショナルに アドバンテージをとっていただ けたら有難いと思います。</p>		
<p>自転車の取り締まりも町から ぜひ持ちかけて下さい。単発 では効果が薄いので、継続 的に行って下さい。</p>		
<p>【投票率について】<b>公助</b></p> <p>寒川町は選挙の投票率が県 内ワーストなので、投票に 来た方にお店に行ったら一 品というようなチケットを 渡すなど考えた方がいいの ではないでしょうか。</p>	<p>そこは課題だと思っています。</p>	
<p>【寒川の魅力について】</p> <p>私は藤沢に住んでいるので すが、寒川に来るとほっと します。景色や時間の流れ がゆったりしています。ま た、お庭に手をかけている 家庭が多く、気持ちにゆ とりがあるのを感じ癒され ています。今の時代、せ っつかれるように世知辛 く、癒しの空間を持つて いることが少なくなっ ているので、寒川はと ても良い町だと思います。</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>大体議論が出尽くした ところですかね。皆様の 寒川町を誇れるま ちにしたいという熱 意をすごく感じ ました。ほんとうに ありがとうございました。</p>	